

NAGANO SPECIAL CONCERT 2025



指揮

小林 研一郎

Ken-Ichiro Kobayashi

東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章（同国で最高位）等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージックファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com/>



©Studio Maar

ヴァイオリン／コンサートミストレス

瀬崎 明日香

Asuka Sezaki

スズキメソードでヴァイオリンを始める。

東京藝術大学付属高校を経て同大学を首席で卒業

文化庁在外派遣研修員としてパリ国立高等音楽院大学院修了

日本音楽コンクール第1位、Lモーツァルト、ヴェニアフスキ国際コンクール上位入賞、トリエステ国際室内楽コンクール最高位受賞、フォーバル・ストラディヴァリウスコンクール優勝

欧州、日本全国各地でソロ、室内楽、オーケストラとの共演等で活動を展開。2005年スペシャルオリンピックス冬季長野大会を機に小林研一郎が社会貢献を目的として設立した『コバケンとその仲間たちオーケストラ』でコンサートミストレスを務める。東京・春・音楽祭、NHK-BSプレミアム、NHK-FM名曲リサイタル等に出演。秋吉台ミュージックアカデミー、コンクール審査等、後進の指導も行う。ソリアルバムを3枚リリース（レコード芸術特選版、準特選版）。

蓼科高原みずなら音楽祭、長野県音楽監督団事業公演、諏訪カルテット等への出演の他、音楽鑑賞会やアウトリーチ、ジュニアアンサンブルテロルの指導等で長野県に度々訪れている。



司会

朝岡 聡

Satoshi Asaoka

フリーアナウンサー、コンサートソムリエ。慶應義塾大学卒業後テレビ朝日にアナウンサーとして入社。久米宏「ニュースステーション」「はなきんデータランド」「ウィングルドンテニス中継」「プロ野球中継」「ニュースシャトル」などスポーツ、情報、報道番組で活躍。

フリーになってからはTV・ラジオ・各種CMに加え、クラシックやオペラのコンサート企画や司会にもフィールドを広げる。その進行やインタビューは、興味深いテーマを軽妙なタッチで語るのが特徴で、芸術の裾野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団など国内オーケストラをはじめ、東京文化会館、サントリーホール、Bunkamuraオーチャードホールなどの主催コンサートに数多く参加するほか、海外オケやアーティストとの共演も多数。日本を代表するコンサート司会者の一人である。リコーダーを大竹尚之、吉澤実の両氏に師事。著書に「笛の楽園～僕のリコーダー人生～」（東京書籍）、「いくぞ！オペラな街」（小学館）、「恋とはどんなものかしら～歌劇的恋愛のカタチ～」（東京新聞）など日本ロシニー協会副会長。東京藝術大学客員教授。

NAGANO SPECIAL CONCERT 2025

●長野・スペシャルコンサート2025はコバケンとその仲間たちオケの考え方に賛同し、全ての人が与えられた命を輝いて生きることができる社会作りを目指します。障がいのある方をご招待しておりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。 ●駐車場に限りがございますので可能な限り公共交通機関をご利用ください。